特別企画

高みを目指せ！ 和水アスリートの挑戦

熊本ヴォルターズ　特別指定選手

柿内輝心さん（中十町出身）

PROFILE
1995年10月21日生まれ（21歳）
172㎝　75㎏
ポジションはガード
好きな言葉は
winners never quit
（勝者は決してあきらめない）

©VOLTERS

「スピードを活かしたドリブルで相手をかわすプレーが持ち味です。」

こう話すのは、日本プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）熊本ヴォルターズの特別指定選手、柿内輝心（かきうちきしん）さん（中十町出身）だ。

小学校でバスケットを始め、夢中でボールを追いかけた。そのころから、プロのバスケットボール選手になりたいと思うようになり、中学校から県外の強豪校に進学した。

「和水町を離れるのは勇気が必要でしたが、プロになるためにと決断しました。送り出してくれた両親に感謝しています。」

親元を離れ、さみしく思うこともあったが、それまで以上にバスケットにのめり込んだ。強豪校で揉まれ、世代別の日本代表に選出されるまでになった。

現在、中央大学に在学中だが、Bリーグの特別指定選手制度を利用して3月から5月の3カ月間、熊本ヴォルターズに入団。

「ヴォルターズでプレーしたことは大きな経験と自信になりました。これまで経験したことのない高さや巧さで、自分のプレーが通用せずに苦労しましたが、高いレベルの選手と練習することで、自分のプレーも磨くことができました。また、Bリーグの公式戦にも出場することができ、プロのバスケットボール選手になるという目標もより明確になりました。地元熊本での試合には家族をはじめ、恩師や友人も多く駆けつけてくれ、とても励みになりました。」

自分を信じ、努力していくことが成功への近道と話す柿内さん。当面は大学での活動となるが、大会で結果を残すため、努力し続ける。

その視線の先には、夢であるプロバスケットボール選手がはっきりと見えている。

柿内さんの今後の活躍から目が離せない。

熊本ヴォルターズの試合は5月7日に2016－17レギュラーシーズン最終戦を迎え、9月に2017－18シーズン開幕予定となっております。
試合日程が決まりしだい、広報なごみでお知らせします。

JAPAN HERITAGE
日本遺産

祝 日本遺産認定!!
菊池川流域の米作り

米作り、二千年にわたる大地の記憶
～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～

菊池川流域４市町（菊池市・山鹿市・玉名市・和水町）で申請していた日本遺産「米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稲』物語」～」が、４月28日（金）に見事認定を受けることができました。

日本遺産とは、地域のさまざまな文化遺産を国内外にアピールし、多くの人にその地へ来てもらうことを目的としたもので、菊池市・山鹿市・玉名市・和水町が連携して、地域の文化財を一つのストーリーに仕立てて認定を目指してきたものです。熊本県内では、平成27年に人吉・球磨地域が県内１例目として認定を受けており、現在も多くの活用事業が行われています。

今回認定されたテーマは、古くから連綿と行われてきた米作りの歴史について、菊池川流域ではそのさまざまな土地利用の歴史や文化をコンパクトに体験できるものとして組み立てたものです。今後は、熊本県や４市町、関係団体と連携して、事業実施の母体となる協議会を立ち上げ、関連文化財や観光スポットを巡る周遊ルート作りや環境整備、またエリアブランドの構築や地域住民の人々への普及啓発事業等を計画していきます。

この菊池川流域の日本遺産を国内外へのアピール手段として活用し、地域の活性化につながるように努めていきます。

《日本遺産の構成文化財》

江田船山古墳（和水町）

菊池渓谷（菊池市）

旧玉名干拓施設（玉名市）

番所地区の棚田（山鹿市）

問い合わせ先　三加和公民館内　社会教育課　文化係　☎0968・34・3047